

3事業所合同保護者との懇談会

虹のかけはし・ワークセンターしおさい・天真庵

平成20年7月11日（金）植田駅前「ホテルアクセス」にて、3事業所合同の保護者との懇談会が行なわれました。

作業を終えた後の夕方、会場に集まり、保護者と共に席に着き、スタート。

美味しい料理が目の前にずらり

と並び、普段なかなか話が出来ない別々の事業所の利用者同士が笑顔で会話を弾ませていました。お待ちかねのカラオケも大いに盛り上がり、時間が足りないうらいでした。

保護者、利用者、職員共に、楽しいひと時が過ごせた時間でした。



除草ボランティア

レジデンスなこそ

9月7日（日）10時からレジデンスなこそ敷地内の除草作業を行いました。保護者の方々にも多数参加していただき、利用者も率先して作業に参加しました。いつも手で行っている除草作業も、保護者の皆さんが草刈り機械で行ってくれたので、短時間できれいになり、とても助かりました。「お礼に」と、利用者が調理実習の腕前

を披露し、カレーライスを作りました。保護者の皆様からも「おいしい」と褒められ、皆も大満足でした。

きれいになったグラウンドでキャッチボールをしたり、自転車の練習をしたりすることができました。この場をおかりして、ご協力いただいた保護者の皆様方にお礼を申し上げます。

防災訓練

レジデンスなこそ・ヘルパーステーションあくていぶ

9月28日（日）勿来消防署のご協力のもと、レジデンスなこそで防災訓練を行いました。近くで見る消防車に、利用者も近所の子供たちも興味津々でした。



始めに、施設内からの出火を想定して避難訓練を行いました。消防隊員の方々からは「もし火事になったら、自分はどういう行動をすればいいのか、いつで

も考えておくこと。第一に火や煙を出さない生活をするのが大事である」と話があり、皆、真剣に聞いていました。次に心肺蘇生法の勉強会をし、倒れている人で意識がない人、呼吸をしていない人に救急車が来るまでに出来ることを学習しました。人工呼吸や心臓マッサージ、AEDの使い方など人形を用いて実際に行い、初めは恥ずかしがっていた利用者も、消防隊員の「この人（倒れている人）の命を救えるかは、あなた次第である」という言葉に真剣な表情になりました。

この貴重な体験を、利用者、職員共に、今後の生活に活かしていきたいと思えます。

国際福祉機器展見学の旅

ヘルパーステーションあくていぶ

9月24日～26日までの3日間、東京ビックサイトにて国際福祉機器展が開催された事が大勢の方がご存知でしょう。この機器展に移動支援事業の利用者が参加する事となりました。車イスの方が列車を利用しての外出に多少不安がありましたが、駅の様々な対応のおかげで無事外出は実現しました。乗り継ぎにはスピーディなスロープの利用、エレベーター、エスカレーターのスムーズな案内、次の駅への連絡等、車イスの方との外出で様々な現実を目のあたりにしました。実際に出かけると改善してほしいこともいろいろありました。ご本人が一番現実を直視されたのではないのでしょうか。また、この16カ国、530社、団体が参加し22,000点もの福祉機器には圧倒されました。これらの福祉機器が様々な障害のある方の身

体的、精神的負担の大きかった動作や生活行為の労力を減少させることが出来、生活の質（QOL）の向上が目指せることを期待したいと思います。一人一人の自立に我々も微力ながら貢献できる事業所として前進していきたいと思えました。今回の外出を通して利用者のMさん、あなたの力強い歩みに勇気、元気をたくさんいただきました。本当にありがとうございました。

